

■ベトナム：中部高原の地方政府、水力開発計画の中止を要請

2013 年 7 月 23 日付の大手経済新聞は、中部高原での新規水力建設計画について、地元の各省が商工省（MOIT）に開発認可を差し止めるよう要請したと報じた。各省の関係者は「中部高原で水力開発によって環境破壊が深刻化している。また、ダム崩落事故 3 件が発生していることから、今後の開発を中止してもらいたい」とコメントしている。現在、中部高原には水力発電所 118 カ所（総発電設備容量 579 万 8,000kW）があり、これらの建設のために 2 万 2,770 ヘクタールの森林が伐採されたが、植林面積は 757 ヘクタールに留まっている。また、施行管理ミスや不適切な建材の使用により、2012 年 10 月に Dak Nong 第 3 水力（7,500kW）、2012 年 11 月に Dak Mek 第 3 水力（7,500kW）、2013 年 6 月に La Krel 第 2 水力（5,500kW）でダムの崩落事故が発生している。